



## 2021年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月10日

上場会社名 株式会社デ・ウエスタン・セラピテクス研究所 上場取引所 東  
 コード番号 4576 URL <https://www.dwti.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日高 有一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務管理部長 (氏名) 川上 哲也 (TEL) 052-218-8785  
 定時株主総会開催予定日 2022年3月29日 配当支払開始予定日 —  
 有価証券報告書提出予定日 2022年3月29日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2021年12月期の連結業績（2021年1月1日～2021年12月31日）

#### （1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期	414	16.5	△171	—	△159	—	△148	—
2020年12月期	355	△38.7	△265	—	△289	—	△276	—

（注）包括利益 2021年12月期 △161百万円（—％） 2020年12月期 △291百万円（—％）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年12月期	△5.08	—	—	△6.1	△41.4
2020年12月期	△10.16	—	—	△12.3	△74.7

（参考）持分法投資損益 2021年12月期 ー百万円 2020年12月期 ー百万円

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期	2,462	2,035	81.4	68.27
2020年12月期	2,737	2,163	78.9	73.88

（参考）自己資本 2021年12月期 2,004百万円 2020年12月期 2,161百万円

#### （3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年12月期	△176	△111	△104	1,933
2020年12月期	△216	△13	1,004	2,308

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2022年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

### 3. 2022年12月期の連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	370	△10.7	△690	—	△700	—	△670	—	△22.82

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2021年12月期	29,358,600株	2020年12月期	29,251,100株
2021年12月期	100株	2020年12月期	100株
2021年12月期	29,333,698株	2020年12月期	27,171,914株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年12月期の個別業績（2021年1月1日～2021年12月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期	412	23.2	△56	—	△39	—	△240	—
2020年12月期	334	△39.1	△179	—	△200	—	△201	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期	△8.21	—
2020年12月期	△7.43	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2021年12月期	2,427		2,006		82.6		68.27	
2020年12月期	2,780		2,215		79.6		75.64	

(参考) 自己資本 2021年12月期 2,004百万円 2020年12月期 2,212百万円

2. 2022年12月期の個別業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	370	△10.2	△540	—	△540	—	△18.39	

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。決算補足説明資料は、TDnetで同日開示を予定しております。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報) .....	11
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13
4. 個別財務諸表及び主な注記 .....	14
(1) 貸借対照表 .....	14
(2) 損益計算書 .....	16
(3) 株主資本等変動計算書 .....	17

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度において、当社グループは新薬の継続的な創出と開発パイプラインの拡充を目指し、研究開発活動を推進いたしました。

上市品2品（緑内障治療剤「グラナテック<sup>®</sup>点眼液0.4%（以下、「グラナテック」）」、眼科手術補助剤「DW-1002」）については、ライセンスアウト先において順調に販売されております。特に、「DW-1002」の米国販売については通期寄与しただけでなく、大幅な増収で推移いたしました。また、10月に「DW-1002」のカナダ販売開始、11月に「グラナテック」のタイ販売開始となりました。

開発パイプラインについては、11月に緑内障・高眼圧症治療剤の新規配合点眼剤「K-232（リパスジル塩酸塩水和物とプリモニジン酒石酸塩）」の国内製造販売承認申請が行われました。緑内障治療剤「H-1337」は、米国後期第Ⅱ相臨床試験の準備を進めております。神経疼痛治療薬「DW-5LBT」は、審査完了報告通知を受領し、FDAとの協議を進めた結果、承認取得のために必要であると指摘を受けた試験について追加実施した上で再申請する方針です。

研究プロジェクトについては、眼科関連疾患を中心に新薬候補化合物の探索のための研究開発活動及び他社との共同研究を推進いたしました。4月にAIを用いた新規のキナーゼ阻害剤の創製を目的とした共同創薬を開始いたしました。また、標的タンパク質分解誘導薬の創出に向けた共同研究については、キナーゼ分解作用を有する幾つかの化合物を取得できたことから、6月にユビエンス株式会社との間で資本提携し、更なる検証を進めております。

以上の結果、当連結会計年度においては、売上高、損益面につきましても前期実績及び当初業績予想を上回って着地しております。

売上高については、各上市品のロイヤリティ収入及び共同研究先からの研究費受領等により、合計414百万円（前期比16.5%増）を計上し、売上原価に20百万円（前期比18.1%増）を計上いたしました。

販売費及び一般管理費については、565百万円（前期比6.3%減）となりました。その内訳は、研究開発費が316百万円（前期比9.8%減）、その他販売費及び一般管理費が249百万円（前期比1.5%減）となりました。

これらにより、営業損失は171百万円（前期営業損失265百万円）となりました。また、営業外収益に為替差益17百万円、営業外費用に支払利息4百万円を計上したこと等の結果、経常損失は159百万円（前期経常損失289百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失は148百万円（前期親会社株主に帰属する当期純損失276百万円）となりました。

なお、当連結会計年度における新薬候補化合物開発状況は次のとおりです。

## ①開発パイプライン

開発コード等		対象疾患	開発段階	地域	ライセンスアウト先
リパスジル 塩酸塩水和物	グラナテック	緑内障・高眼圧症	上市	日本、アジア (注1)	興和
	K-321	フックス角膜内皮変性症	第Ⅱ相臨床試験	米国	興和
リパスジル塩 酸塩水和物/ プリモニジン 酒石酸塩	K-232	緑内障・高眼圧症	申請	日本	興和
DW-1002		内境界膜剝離	上市	欧州・米国等	DORC
		内境界膜染色	第Ⅲ相臨床試験	日本	わかもと製薬 (WP-1108)
		白内障手術	第Ⅲ相臨床試験	日本	
DW-1001		眼科用治療剤（非開示）	非臨床試験	日本	ロート製薬
H-1337		緑内障・高眼圧症	第Ⅰ相/前期第Ⅱ 相臨床試験	米国	自社開発
DW-5LBT		帯状疱疹後の神経疼痛	申請	米国	メドレックスと共同 開発（MRX-5LBT）
未熟児網膜症治療薬（注2）		未熟児網膜症	臨床試験準備中	日本	子会社JIT開発

(注1) タイで上市、その他アジア一部地域において申請中もしくは承認取得されております。

(注2) JITは未熟児網膜症等診断薬について、アジア一部地域における独占の実施権をSplendor Health International Limitedに再許諾するライセンス契約を締結しております。

## (イ) リパスジル塩酸塩水和物

(a) グラナテック<sup>®</sup>点眼液0.4% (対象疾患：緑内障・高眼圧症)

本開発品は、プロテインキナーゼの一種であるRhoキナーゼを選択的に阻害するイソキノリンスルホンアミド化合物であり、眼圧下降作用により緑内障・高眼圧症を治療する点眼剤です。緑内障治療剤における世界初の作用機序を有しており、Rhoキナーゼを阻害することにより、線維柱帯-シュレム管を介する主流出路からの房水流出を促進することで眼圧を下降させます。

当社は、2002年に本開発品の全世界の権利を興和株式会社（以下、「興和」）にライセンスアウトしました。その後は興和により臨床試験が進められ、2014年に緑内障・高眼圧症を適応症として国内上市されました。さらに、海外展開も進められ、アジア一部地域において承認取得、販売開始されております。

## (b) K-321 (対象疾患：フックス角膜内皮変性症)

Rhoキナーゼ阻害剤であるグラナテックは、眼内にあるキナーゼに作用する可能性があることが示唆されており、他眼科疾患への適応可能性が検討されておりました。適応拡大に向けた取り組みとして、2019年に米国第Ⅱ相臨床試験のIND申請（治験許可申請）がなされ、興和にてフックス角膜内皮変性症を適応症とした試験が開始されました。フックス角膜内皮変性症の治療法は角膜移植しか存在しないのが現状であり、有効な治療薬の開発が望まれています。

## (c) K-232 (対象疾患：緑内障・高眼圧症)

本開発品は、リパスジル塩酸塩水和物とブリモニジン酒石酸塩を含有する世界で初めての組み合わせの配合点眼剤です。2020年より、興和にて緑内障・高眼圧症を適応症として国内第Ⅲ相臨床試験が開始され、2021年11月に国内製造販売承認申請が行われました。緑内障の治療は、多剤併用が標準的な治療法となりつつあります。本開発品により、アドヒアランスの向上が期待され、緑内障患者様の治療に貢献できるものと考えております。

## (ロ) DW-1002 (対象疾患：内境界膜剥離、内境界膜染色、白内障手術)

本開発品は、国立大学法人九州大学の研究グループが発見したBBG250 (Brilliant Blue G-250) という染色性の高い色素を主成分とした眼科手術補助剤について、独占的ライセンスに基づき開発している開発品で、眼内にある内境界膜又は水晶体を保護するカプセルを一時的に安全に染色し、硝子体・白内障の手術を行いやすくするものです。当社は、2017年に本事業を譲受いたしました。

日本以外の全世界向けの独占的なサブライセンスをDutch Ophthalmic Research Center International B. V. (以下、「DORC」) に付与しており、DORCは、2010年から欧州等において、この眼科手術補助剤を製造・販売しております。2020年には米国においても販売開始し、2021年10月にはカナダで販売開始いたしました。

国内については、わかもと製薬株式会社（以下、「わかもと製薬」）に眼科手術用途の内境界膜染色についての独占的サブライセンスを付与しており、わかもと製薬が製造販売承認の取得に向けて開発を進めております。また、白内障手術については、2018年に九州大学病院が主体となった医師主導治験（第Ⅲ相臨床試験）が終了し、2019年には白内障手術時の水晶体前囊染色を対象とする独占的サブライセンスをわかもと製薬にライセンスアウトいたしました。わかもと製薬では、内境界膜染色と併せて承認取得に向けた準備を進めております。

## (ハ) DW-1001 (対象疾患：非開示)

本開発品は、2015年に英国企業から導入した眼科用治療剤です。

他の疾患を適応症として既に市販されている化合物を眼科適応への適応拡大を目指す、いわゆるリポジショニングの手法での開発を目指しており、開発のコスト並びにリスクは相対的に低くなることが期待されます。

2019年に日本における独占的実施権をロート製薬株式会社（以下、「ロート製薬」）にライセンスアウトいたしました。ロート製薬では、非臨床試験を進めております。

## (ニ) H-1337 (対象疾患：緑内障・高眼圧症)

本開発品は、プロテインキナーゼ阻害剤を中心とする当社化合物ライブラリーのシード化合物を基にして最適化された、緑内障・高眼圧症を対象疾患とする開発品です。当社初となる自社臨床開発を行っており、2018年に米国第Ⅰ相/前期第Ⅱ相臨床試験を終了いたしました。試験結果は良好で、有効性の主要評価項目で本開発品の有効性が確認され、安全性に関して重篤な有害事象は認められませんでした。現在、米国での次の開発の準備を進めております。

また、適応拡大の研究を進めており、滲出型加齢黄斑変性に対する治療効果、並びに肺高血圧に対する治療効果も動物試験において確認されております。

(ホ) DW-5LBT(対象疾患：帯状疱疹後の神経疼痛)

本開発品は、イオン液体を利用した株式会社メドレックス（以下、「メドレックス」）の独自技術 ILTS (Ionic Liquid Transdermal System) を用いた新規のリドカインテープ剤であり、リドカインパップ剤 Lidodermの市場をターゲットとして開発が進められております。メドレックスが帯状疱疹後の神経疼痛治療薬として開発を進めており、当社は2020年に共同開発を開始いたしました。2020年に米国FDA（米国食品医薬品局）に承認申請いたしました。2021年7月に審査完了報告通知を受領し、FDAとの協議を進めた結果、承認取得のために必要であると指摘を受けた試験について追加実施した上で再申請する方針です。

(ヘ) 未熟児網膜症治療薬（対象疾患：未熟児網膜症）

本開発品は、国立大学法人東京農工大学及び東京バイオマーカー・イノベーション技術研究組合により見出され、未熟児網膜症発症の重要な原因であることが患者様で確認されている蛋白質を阻害する化合物です。他の疾患を適応症として既に市販されている化合物を本適応症への適応拡大を目指す、いわゆるリポジショニングの手法での開発を目指しており、開発のコスト並びにリスクは相対的に低くなることが期待されます。

子会社JITが未熟児網膜症の診断薬に関する特許も含めて権利を有しており、2020年には、未熟児網膜症等診断薬に関する特許について、アジア一部地域（中華人民共和国、香港行政特別エリア、台湾地域）における独占的実施権を、Splendor Health International Limitedに再許諾するライセンス契約を締結いたしました。

②研究プロジェクト

当社グループは、プロテインキナーゼ阻害剤を中心とした新薬候補化合物の創出を行っております。プロテインキナーゼを対象とする疾患は様々ですが、特に眼科関連疾患に注力した研究を推進しております。また、自社の創薬基盤技術を活かし、他社との提携を積極的に推進しております。

主なプロジェクトとしては、眼科関連疾患や神経系、呼吸器系疾患等を対象としたシグナル伝達阻害剤開発プロジェクトを当社開発研究所（国立大学法人三重大学の研究施設）において行っております。また、共同研究として、Glaukos Corporationとの新規デバイス創出プロジェクト、ユビエンス株式会社との標的タンパク質分解誘導薬プロジェクト、SyntheticGestaltとの炎症系・中枢系疾患を対象にしたキナーゼ阻害剤のAI創薬プロジェクト等複数のプロジェクトを進めております。

(2) 当期の財政状態の概況

総資産は、前連結会計年度末から274百万円減少し、2,462百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末から341百万円減少し、2,162百万円となりました。主な要因は、「H-1337」の原薬製造により、貯蔵品が30百万円増加した一方で、現金及び預金が374百万円減少したこと等によるものです。固定資産は、前連結会計年度末から66百万円増加し、300百万円となりました。主な要因は、契約関連無形資産が41百万円減少した一方で、投資有価証券が109百万円増加したこと等によるものです。

負債は、前連結会計年度末から146百万円減少し、427百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末から16百万円減少し、193百万円となりました。主な要因は、流動負債のその他が21百万円減少したこと等によるものです。固定負債は、前連結会計年度末から129百万円減少し、234百万円となりました。要因は、長期借入金129百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末から128百万円減少し、2,035百万円となりました。主な要因は、非支配株主持分が28百万円増加した一方で、親会社株主に帰属する当期純損失の計上により利益剰余金が148百万円減少したこと等によるものです。

この結果、自己資本比率は81.4%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ374百万円減少し、1,933百万円となりました。

なお、当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は176百万円（前期は216百万円の支出）となりました。これは主に税金等調整前当期純損失159百万円及びたな卸資産の増加額30百万円があったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は111百万円（前期は13百万円の支出）となりました。これは主に投資有価証券の取得による支出109百万円及び有形固定資産の取得による支出2百万円があったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は104百万円（前期は1,004百万円の収入）となりました。これは主に新株予約権の行使による株式の発行による収入16百万円があった一方で、長期借入金の返済による支出120百万円があったこと等によるものです。

(4) 今後の見通し

売上高は、「グラナテック」「DW-1002」の販売によるロイヤリティ収入、開発品の進捗に伴うマイルストーン収入等により370百万円（当期売上高414百万円）を見込んでおります。

研究開発費は、通常の新薬候補品創出に向けた研究開発活動に加え、「H-1337」の米国後期第Ⅱ相臨床試験費用により790百万円（当期研究開発費316百万円）を見込んでおります。

その結果、営業損失は690百万円（当期営業損失171百万円）、経常損失は700百万円（当期経常損失159百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失は670百万円（当期親会社株主に帰属する当期純損失148百万円）を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、企業間及び経年での比較可能性を確保するため、当社の連結財務諸表は、「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則（第7章及び第8章を除く）」（昭和51年大蔵省令第28号）に基づいて作成しております。なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当連結会計年度 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,308,210	1,933,743
売掛金	91,877	101,674
貯蔵品	58,324	88,399
その他	44,872	38,365
流動資産合計	2,503,284	2,162,183
固定資産		
有形固定資産		
建物	5,653	5,653
減価償却累計額	△4,547	△4,763
建物(純額)	1,105	889
工具、器具及び備品	89,966	90,687
減価償却累計額	△85,780	△87,008
工具、器具及び備品(純額)	4,186	3,678
有形固定資産合計	5,292	4,567
無形固定資産		
契約関連無形資産	205,714	164,571
その他	2,540	2,047
無形固定資産合計	208,254	166,619
投資その他の資産		
投資有価証券	12,992	122,513
その他	7,887	6,975
投資その他の資産合計	20,879	129,489
固定資産合計	234,426	300,676
資産合計	2,737,711	2,462,860
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	120,000	129,524
未払金	37,637	41,759
未払法人税等	18,771	9,889
その他	33,396	12,072
流動負債合計	209,805	193,245
固定負債		
長期借入金	340,000	210,476
その他	24,000	24,000
固定負債合計	364,000	234,476
負債合計	573,805	427,721
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	556,856	573,159
資本剰余金	2,655,571	2,631,398
利益剰余金	△1,051,280	△1,200,276
株主資本合計	2,161,147	2,004,281
新株予約権	2,758	2,692
非支配株主持分	—	28,164
純資産合計	2,163,905	2,035,138
負債純資産合計	2,737,711	2,462,860



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
売上高	355,586	414,424
売上原価	17,019	20,099
売上総利益	338,566	394,324
販売費及び一般管理費		
研究開発費	350,535	316,161
その他	253,710	249,812
販売費及び一般管理費合計	604,246	565,974
営業損失(△)	△265,679	△171,649
営業外収益		
受取利息	127	21
為替差益	—	17,382
その他	2,483	397
営業外収益合計	2,611	17,801
営業外費用		
支払利息	4,728	4,424
為替差損	6,334	—
株式交付費	3,666	1,168
新株発行費	5,535	—
その他	6,193	270
営業外費用合計	26,459	5,863
経常損失(△)	△289,527	△159,711
税金等調整前当期純損失(△)	△289,527	△159,711
法人税、住民税及び事業税	1,595	1,595
法人税等合計	1,595	1,595
当期純損失(△)	△291,123	△161,306
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△15,018	△12,311
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△276,104	△148,995

## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
当期純損失(△)	△291,123	△161,306
包括利益	△291,123	△161,306
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△276,104	△148,995
非支配株主に係る包括利益	△15,018	△12,311

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計			
当期首残高	34,762	2,133,478	△775,176	1,393,065	—	15,018	1,408,083
当期変動額							
新株の発行	522,093	522,093		1,044,186			1,044,186
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△276,104	△276,104			△276,104
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					2,758	△15,018	△12,260
当期変動額合計	522,093	522,093	△276,104	768,081	2,758	△15,018	755,821
当期末残高	556,856	2,655,571	△1,051,280	2,161,147	2,758	—	2,163,905

当連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計			
当期首残高	556,856	2,655,571	△1,051,280	2,161,147	2,758	—	2,163,905
当期変動額							
新株の発行	16,302	16,302		32,605			32,605
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△148,995	△148,995			△148,995
非支配株主との取引に係る 親会社の持分変動		△40,476		△40,476		40,476	—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					△66	△12,311	△12,377
当期変動額合計	16,302	△24,173	△148,995	△156,865	△66	28,164	△128,767
当期末残高	573,159	2,631,398	△1,200,276	2,004,281	2,692	28,164	2,035,138

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純損失 (△)	△289,527	△159,711
減価償却費	44,157	45,259
株式報酬費用	9,902	15,226
受取利息	△127	△21
支払利息	4,728	4,424
為替差損益 (△は益)	6,950	△17,822
株式交付費	3,666	1,168
新株発行費	5,535	—
売上債権の増減額 (△は増加)	11,645	△9,796
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,044	△30,075
未払金の増減額 (△は減少)	12,312	4,122
その他	△20,711	△23,425
小計	△210,422	△170,652
利息及び配当金の受取額	130	21
利息の支払額	△4,404	△4,096
法人税等の支払額	△1,588	△1,578
営業活動によるキャッシュ・フロー	△216,284	△176,306
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,705	△2,314
無形固定資産の取得による支出	△421	△585
投資有価証券の取得による支出	△7,868	△109,148
差入保証金の増減額 (△は増加)	△469	897
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,465	△111,150
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△120,000	△120,000
新株予約権の発行による収入	808	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,023,318	16,620
株式の発行による支出	—	△1,080
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,004,126	△104,459
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,950	17,449
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	767,425	△374,466
現金及び現金同等物の期首残高	1,540,784	2,308,210
現金及び現金同等物の期末残高	2,308,210	1,933,743

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## 【セグメント情報】

当社グループは、創薬事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## 【関連情報】

前連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：千円)

日本	欧州	米国	その他	合計
183,800	107,136	59,431	5,218	355,586

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しております。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の氏名又は名称	売上高
興和株式会社	165,639
Dutch Ophthalmic Research Center International B.V.	107,136
Glaukos Corporation	59,306

(注) 当社は、単一セグメントであるため、関連するセグメント名は記載しておりません。

当連結会計年度（自 2021年1月1日 至 2021年12月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	欧州	米国	合計
174,592	170,098	69,733	414,424

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の氏名又は名称	売上高
興和株式会社	172,289
Dutch Ophthalmic Research Center International B.V.	170,098
Glaukos Corporation	69,733

(注) 当社は、単一セグメントであるため、関連するセグメント名は記載しておりません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
1株当たり純資産額	73.88円	68.27円
1株当たり当期純損失(△)	△10.16円	△5.08円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△276,104	△148,995
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△276,104	△148,995
普通株式の期中平均株式数 (株)	27,171,914	29,333,698
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権1種類(新株予約権の数22,610個(普通株式2,261,000株))	—

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. 個別財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当事業年度 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,265,947	1,709,207
売掛金	91,712	100,989
貯蔵品	54,779	85,551
前渡金	1,591	7,670
前払費用	7,492	21,741
関係会社短期貸付金	100,000	100,000
その他	25,704	2,247
流動資産合計	2,547,227	2,027,407
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,105	889
工具、器具及び備品	4,186	3,678
有形固定資産合計	5,292	4,567
無形固定資産		
ソフトウェア	2,467	1,891
契約関連無形資産	205,714	164,571
その他	72	72
無形固定資産合計	208,254	166,535
投資その他の資産		
投資有価証券	12,992	122,513
関係会社株式	0	99,279
その他	6,989	6,975
投資その他の資産合計	19,981	228,768
固定資産合計	233,528	399,871
資産合計	2,780,756	2,427,279
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	120,000	129,524
未払金	34,550	38,577
未払費用	3,096	4,449
前受金	22,472	—
未払法人税等	17,235	9,271
預り金	4,226	3,022
その他	—	984
流動負債合計	201,580	185,829
固定負債		
長期借入金	340,000	210,476
その他	24,000	24,000
固定負債合計	364,000	234,476
負債合計	565,580	420,305



(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当事業年度 (2021年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	556,856	573,159
資本剰余金		
資本準備金	2,656,198	2,672,501
資本剰余金合計	2,656,198	2,672,501
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△1,000,636	△1,241,378
利益剰余金合計	△1,000,636	△1,241,378
株主資本合計	2,212,417	2,004,282
新株予約権	2,758	2,692
純資産合計	2,215,176	2,006,974
負債純資産合計	2,780,756	2,427,279

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当事業年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
売上高	334,522	412,121
売上原価	13,929	20,099
売上総利益	320,593	392,021
販売費及び一般管理費		
研究開発費	276,828	228,493
その他	223,114	220,469
販売費及び一般管理費合計	499,943	448,962
営業損失(△)	△179,349	△56,941
営業外収益		
受取利息	1,129	1,302
為替差益	—	17,382
受取手数料	3,600	3,600
その他	116	395
営業外収益合計	4,845	22,680
営業外費用		
支払利息	4,728	4,424
為替差損	6,321	—
新株発行費	5,535	—
その他	9,860	358
営業外費用合計	26,446	4,783
経常損失(△)	△200,950	△39,043
特別損失		
関係会社株式評価損	—	200,721
特別損失合計	—	200,721
税引前当期純損失(△)	△200,950	△239,764
法人税、住民税及び事業税	977	977
法人税等合計	977	977
当期純損失(△)	△201,927	△240,741

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本						新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計		
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
当期首残高	34,762	2,134,104	2,134,104	△798,709	△798,709	1,370,158	—	1,370,158
当期変動額								
新株の発行	522,093	522,093	522,093			1,044,186		1,044,186
当期純損失(△)				△201,927	△201,927	△201,927		△201,927
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							2,758	2,758
当期変動額合計	522,093	522,093	522,093	△201,927	△201,927	842,259	2,758	845,017
当期末残高	556,856	2,656,198	2,656,198	△1,000,636	△1,000,636	2,212,417	2,758	2,215,176

当事業年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本						新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計		
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
当期首残高	556,856	2,656,198	2,656,198	△1,000,636	△1,000,636	2,212,417	2,758	2,215,176
当期変動額								
新株の発行	16,302	16,302	16,302			32,605		32,605
当期純損失(△)				△240,741	△240,741	△240,741		△240,741
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							△66	△66
当期変動額合計	16,302	16,302	16,302	△240,741	△240,741	△208,135	△66	△208,201
当期末残高	573,159	2,672,501	2,672,501	△1,241,378	△1,241,378	2,004,282	2,692	2,006,974